

令和6年度 川西市健康づくり推進協議会

日 時 令和6年8月7日(木)午後2時00分～
場 所 川西市役所 4階 庁議室

1 開 会

2 議事

(1)第1次川西市健幸まちづくり計画の進捗状況(令和5年度実績)について (資料1)

(2)第2次川西市健幸まちづくり計画の目標値達成に向けた取組について(資料2)

(3)食育フェアの開催について

3 その他

4 閉会

〈配付資料〉

(資料1)第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況(令和5年度実績)

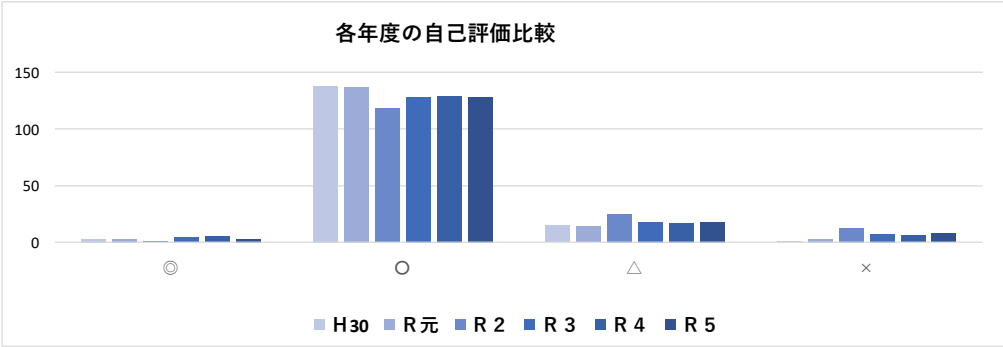
(資料2)第2次川西市健幸まちづくり計画指標一覧

健幸まちづくり計画 進捗状況の年度別自己評価推移

◎目標を上回った ○概ね目標通りだった △目標を下回った ×今年度実施せず (年度)

章	基本施策名（施策数）	自己評価	H30	R元	R2	R3	R4	R5	比較(R5-R4)
第3章 市民みんなの健康づくり	1 栄養・食生活（2）	◎	0	1	1	0	0	1	1
	2 身体活動・運動（3）	○	32	30	23	31	31	28	△3
	3 休養・心の健康（7）	△	0	1	8	1	1	2	1
	4 たばこ（4）	×	0	0	0	0	0	1	1
	5 アルコール（3）	×	0	0	0	0	0	1	1
第4章 子どもの健康づくり	6 健康診査・各種健診・健康管理（11）	◎	0	0	0	3	3	0	△3
	1 親と子の健康（母子保健）（15）	○	34	32	31	30	30	33	3
	2 思春期保護対策の充実（学校保健等）（12）	△	0	2	2	0	0	0	0
		×	0	0	1	1	1	1	0
第5章 歯と口の健康づくり	1 生涯を通じた歯科疾患の予防と歯と口の動きの維持・向上（8）	◎	0	1	0	0	0	1	1
	2 支援が必要な人の健康づくり（4）	○	12	13	11	15	15	13	△2
		△	3	1	3	0	0	1	1
		×	0	0	1	0	0	0	0
第6章 食育推進による健康まちづくり（第2次食育推進計画）	1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり（13）	◎	1	0	0	0	1	1	0
	2 “食”からひろがる地域のつながり（9）	○	33	36	29	32	31	30	△1
	3 次世代へつながり、ひろがる食育の“輪”（6）	△	7	4	6	5	6	7	1
		×	0	1	6	4	3	3	0
第7章 スマートウェルネスシティの健幸まちづくり	1 健康まちづくりの推進（10）	◎	2	0	0	1	1	0	△1
		○	5	5	2	1	1	3	2
		△	4	5	6	8	8	6	△2
		×	1	2	4	2	2	3	1
第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり	1 緊急・災害医療の充実（5）	◎	0	1	0	0	0	0	0
	2 地域医療の基礎づくりと疾病対策（13）	○	22	21	22	19	21	21	0
		△	1	1	0	4	2	2	0
		×	0	0	1	0	0	0	0
年度合計		◎	3	3	1	4	5	3	△2
		○	138	137	118	128	129	128	△1
		△	15	14	25	18	17	18	1
		×	1	3	13	7	6	8	2
		計	157	157	157	157	157	157	

1つの施策で複数の所管の自己評価があることから、施策数と自己評価の合計数は一致しない。



第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策1 栄養・食生活

【施策の推進方向】

- (1) 若年齢層に対する食生活の見直しと改善を呼びかけます。
- (2) 適正な食生活を実践するための情報提供や料理体験などを行います。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	31	(1) (2)	食事診断の利用促進	保健センターの事業参加者に対し、食事診断を行い適切な指導を行います。	保健センター (健幸政策課)	2	栄養診断ソフト を用いた食事診 断利用者数 (人)	94		34	◎	継続	対象者が記入しやすい様式 に変更するとともに、各種教 室での参加者に勧奨するこ とで、利用促進につながっ た。	
2	31	(1) (2)	健康教室の開催	参加者の健康維持・改善を図る多面的な健康教室を開催します。	保健センター (健幸政策課)	2	栄養・食生活健 康教育数 (人数/回)	388/86		546/84	○	継続	糖尿病や脂質異常症等の 病態別及び健康食生活一 般に関する成人への健康教 育を実施。	参加者の中にはリピーター も多いため、対象者に合わ せて教室の内容を見直して いく必要がある。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

基本施策2 身体活動・運動

【施策の推進方向】

- (1) 老若男女を問わず、日頃から自身の健康を意識しつつ、幸せを実感できる健幸まちづくりに向けた取り組みを進めます。
- (2) より早期からのフレイル予防に取り組みます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他 ★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	35	(1)	運動実践に関する 情報発信と支援体 制の整備	身近な地域で運動を実践・継続できるよう、市内運 動施設などの情報集約を行い、目的に応じた施設 や事業の案内に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2	健幸アンバサ ダー(人)	153		153	○	継続		引き続き、自主的な活動を すすめていく
		(1)				2					○	継続	窓口や電話でのお問い合わせで、社会体育施設の利用 方法や、スポーツ協会・ス ポーツクラブ21などの団体 紹介を行った。	
2	35	(1) (2)	日常生活における 運動の啓発	健幸マイレージの実施やきんたくん健幸体操の普 及に努め、市民の運動習慣の定着を図ります。	保健センター (健幸政策課)	2	A:健幸マイレージ 総参加者数 (人) B:きんたくん健 幸体操普及(人 /回)	B128/14		A:6,136 B:0/0	△	縮小	きんたくん健幸体操は新型 コロナウイルス感染症の5 類移行後に総合体育館で のLet'sきんたくん健幸体操 を再開したため、十分な普 及を行うことができなかった。 また、参加人数が減少 したため、リーダー会での話 し合いにより、令和5年度で 終了することとした。 令和4年度で健幸マイレー ジは終了し、令和6年度に 向け、歩くことを基本とする 取組について検討した。	令和6年度は、きんたくん健 幸体操リーダー派遣のみ実 施。継続を含め検討してい く。 また、令和6年度に介護予 防・健康ポイント事業を開始 する。
3	35	(1)	機能訓練の充実	麻痺や拘縮(関節がかたくなって動きにくくなること) 等の機能障がい及び日常生活活動動作等の能力 障がいに対する指導や訓練を実施します。 また、介護予防担当所管と協力・連携しながら、老 化等による機能低下の防止に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	感染対策を講じつつ、介護 予防の観点から事業を進め ることができた。 引き続き実施する。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策3 休養・心の健康

【施策の推進方向】

- (1) ライフステージに応じた心の健康づくりに関する知識の普及を図るとともに、相談支援体制を充実します。
- (2) 心の悩みを持つ人に対する理解を深め、専門・関係機関と連携しながら地域における生活を支援します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	39	(1) (2)	自殺予防対策	いのちの授業やいのちと心のセミナーを通じて自尊感情の醸成や自殺予防の周知・啓発を進めるとともに、ゲートキーパー※の育成等による人材育成を通じて自殺予防対策に努めます。 ※ゲートキーパー: 悩んでいる人に気づき、声をかけ話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人のこと。	地域福祉課	2					○	継続	・「いのちと心のセミナー」を通じて自尊感情の醸成や自殺予防の周知・啓発を進めた。 ・中学校2校を対象に「いのちの授業」を実施した。 ・市職員・一般市民を対象として自殺予防にかかる人材育成講座を開催した。	
2	39	(2)	PTSD対策	犯罪や事故などで生じた被害者(加害者の家族も含む)のPTSD(心的外傷後ストレス障害)について、県の相談窓口等との連携を図ります。	生活安全課 (地域福祉課)	2					○	継続	必要に応じ、県の相談窓口等につなぐなど連携を図った。	
3	39	(1) (2)	心の相談事業	日常生活のストレス、引きこもり等で、精神に障がいや来す恐れのある人及びその家族に対して、専門医と精神福祉士等が相談に応じます。	障害福祉課	2					○	継続	平成14年度に県から事務移管を受け、毎月第3金曜日に「心の相談」を実施している。	医療機関に受診し支援に結びついたケースもあるが、相談者のその後の状況把握が難しいという課題がある。
4	39	(1) (2)	カウンセリング事業	同じ悩みを持つ仲間を助けるという視点から、精神障がい者などによるピアカウンセリング※の実施、自助グループ育成の支援などに努めます。 ※ピアカウンセリング: 何らかの共通点(同じような環境や悩み)を持つ(または経験した)グループ間で対等な立場で同じ仲間として行われるカウンセリングのこと。	障害福祉課	2					△	継続	川西市障がい者基幹相談支援センターにおいて、精神障がい者をはじめ、障がい種別ごとのピアカウンセリングを実施している。また、自助グループ育成支援として、障がい者が交流できる場を設置、運営する団体2か所に対し補助を行った。	ピアカウンセリングの利用者が少ないため、利用推進に向けた取り組みやピアカウンセリングの在り方を検討していく必要がある。
5	39	(1) (2)	精神保健対策の連携	精神保健対策の円滑な推進のため、県健康福祉事務所などの関係機関との連携を進めます。	障害福祉課	2					○	継続	平成27年度より「伊丹健康福祉事務所及び伊丹・川西警察署等地域連絡協議会」に参加している。 随時ケース検討会議を開催若しくは参加し、連携を図っている。	
6	39	(1) (2)	精神障がい者に対する理解の促進	精神障がい者に対する市民の理解を深めるため、講演会の開催などの啓発活動を実施し、精神障がい者の社会復帰の推進を行うとともに、精神障がい者の暮らしやすい地域づくりに努めます。	障害福祉課	2					×	継続	講演会など啓発活動を実施することができなかった。	啓発活動の実施方法について、検討していく必要がある。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策3 休養・心の健康

【施策の推進方向】

- (1) ライフステージに応じた心の健康づくりに関する知識の普及を図るとともに、相談支援体制を充実します。
- (2) 心の悩みを持つ人に対する理解を深め、専門・関係機関と連携しながら地域における生活を支援します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1. 新規開始 ◎: 目標を上回った
2. 維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
4. その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
7	39	(1) (2)	精神障がい者に対 する相談支援	市内に設置している精神障がい者相談員及び市役 所と川西市障がい者基幹相談支援センターで実施 している相談支援のさらなる充実を図ります。	障害福祉課	2					○	継続	障害福祉課に3名の精神保 健福祉士を配置しているほ か、相談支援事業所にも配 置されており、相談支援体 制の充実を図っている。ま た、県が実施主体となり、精 神障がい者の福祉の向上を 図るため、精神障がい者相 談員を地域に配置してい る。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策4 たばこ

【施策の推進方向】

(1) 喫煙による健康被害に関する知識の普及を図り、禁煙支援と受動喫煙の防止対策を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	42	(1)	たばこの影響に関する理解の促進	市広報誌やホームページをはじめとする様々な広報媒体による啓発とともに、講演会などの健康教育事業の実施により、たばこの健康への影響に関する情報提供に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	広報媒体による啓発と事業所に対する健康教育を実施した。	
2	42	(1)	受動喫煙防止対策	兵庫県の受動喫煙の防止等に関する条例の制定趣旨を受け、市の公共施設における受動喫煙防止対策を講じるとともに、兵庫県の普及啓発事業に協力します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	兵庫県の受動喫煙の防止等に関する条例に基づき、受動喫煙の防止啓発(ポスター掲示)を実施。	
3	42	(1)	禁煙支援等の推進	喫煙や受動喫煙による健康被害の啓発など、禁煙教育や相談業務を実施します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	健康教育や健康相談等事業を通して相談を実施。	
4	42	(1)	未成年者の喫煙防止対策	健やかな成長の妨げとなる未成年者の喫煙を防止するため、家庭や学校などと連携し、喫煙に関する正しい知識の普及に努めます。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	小・中学校の保健の授業で学習している。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策5 アルコール

【施策の推進方向】

- (1) アルコールに対する理解が深まるよう、知識の普及啓発に努めます。
- (2) 未成年者に対しては、飲酒を防止する教育を行います。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	46	(1)	アルコールに関する知識の普及	ストレスや不安などの解消をアルコールに頼らない習慣づくりや、アルコールとの上手なつき合い方の啓発に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	各種健康に関する事業などの機会に、アルコールによる健康被害の啓発を行うとともに、相談業務を行った。	
2	46	(1)	アルコール問題に関する相談窓口の情報提供	アルコール問題を抱える多量飲酒者やその家族に対して、県が実施する「アルコール相談」について情報提供します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	アルコール問題を抱える多量飲酒者やその家族に対して、県が実施する「アルコール相談」について情報提供を行った。	
3	46	(1) (2)	未成年者の飲酒防止対策	低年齢化が進んでいる未成年者の飲酒を防止するため、家庭や学校、地域において、アルコールに関する正しい知識の普及を図ります。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	小・中学校の保健の授業で学習している。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策6 健康診査・各種検診・健康管理

【施策の推進方向】

- (1) 定期的な健康診査やがん検診の受診の必要性について周知するとともに、市民が受診しやすい環境づくりに努めます。
- (2) 健康の保持・増進に向けた知識を普及し、生活習慣の改善に向けた意識の向上を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	50	(1) (2)	がん検診の啓発	早期発見・早期治療につなげるため、がん検診の有効性などの啓発活動を実施し、無関心層等にも周知を図ります。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	がん検診のチラシを作成し、新聞折り込みで配布した。また、デジタルサイネージに掲載するなど、新たな啓発活動を行った。	無関心層へ健(検)診の必要を訴えるため、これまでと違う新たな視点での取り組み。
2	50	(1) (2)	がん検診受診率向上	国等や市国民健康保険担当等とも連携し、がん検診受診率向上のための施策を実施し、受診率向上をめざします。	保健センター (健幸政策課)	3					○	継続	R5年度より、5大がん検診を無料化した。また、協会けんぽが実施する健診時にがん検診を同時実施できるよう調整し、検診機会の拡充を図った。	左記機会拡充を継続実施するとともに、がん検診の周知方法を検討する。
		(1) (2)			国民健康保険課	3					○	継続	出張特定健診時に各種がん検診を引き続き実施。	R5年度より川西市民を対象に各種がん検診を無料で実施することとなった。ただし、前立腺がん検診は国民健康保険加入者に限り無料で受診可能。
3	50	(1) (2)	骨粗しょう症検診	診断結果に基づき栄養に関する情報提供を行います。	保健センター (健幸政策課)	2	結果説明及び食生活アドバイス利用者等数(人)	482		442	○	継続	数値には1か月後の事後フォロー者数を含む。また、栄養指導を行う際の媒体の見直しを行った。	
4	50	(1)	肝炎ウイルス検診(B型C型)	肝炎ウイルス検診(B型・C型)受診の必要性に関する広報など、積極的な周知を行います。	保健センター (健幸政策課)	3					○	継続	40歳から65歳までの5歳刻みの未受診者へ、個別勧奨通知を送付した。	
5	50	(1)	健診の受けやすい環境づくり	市民ニーズにあわせて、特定健康診査や後期高齢者健康診査、胃・胸部等のがん検診を休日に実施します。また、特定健康診査等とがん検診が同時受診できる環境の整備など、より受診しやすい体制を検討します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	レディース検診(土・日)を4回、日曜検診を2回実施した。火曜と金曜は肺・前立腺、と同時受診可能。また、WEBでも予約できる体制を導入している。協会けんぽが実施する健診時にがん検診を同時実施できるようにしている。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第3章 市民みんなの健康づくり

基本施策6 健康診査・各種検診・健康管理

【施策の推進方向】

- (1) 定期的な健康診査やがん検診の受診の必要性について周知するとともに、市民が受診しやすい環境づくりに努めます。
- (2) 健康の保持・増進に向けた知識を普及し、生活習慣の改善に向けた意識の向上を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
6	50	(1)	健康診査体制の充 実	市民の健康の保持・増進を図るため、各種健康診 査を実施するとともに、健診結果にあわせたフォ ロー体制を構築します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	要精密検査となったもの の、精密検査の結果が把握 できていない方に対し、確 認通知を送付した。	
7	50	(2)	検診結果の活用	検診結果の受診者ごとの経年変化を把握するな ど、適正な結果分析及び情報提供を行います。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	過去の検診結果を並べて表 示するなど、一目でわかる よう結果票を工夫した。	
8	50	(1) (2)	半日人間ドック	市民の健康管理の一環として簡易(3時間程度)に 受診できる人間ドックを実施します。	保健センター (健幸政策課)	2	栄養相談利用 者数(人)	223		144	○	継続	毎週月・火曜日に半日人間 ドックを実施している。 また、水曜日に3回追加実 施した。	
9	50	(1)	各種精密検査	保健センター内メディカルセンターで、各種精密検 査を継続します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	健(検)診の有用性の周知や 受診動奨を行うとともに、改 めて医療機関への周知を行 い受診者数を増やした。	
10	50	(2)	特定保健指導の充 実	特定保健指導の実施レベルの向上に努め、利用者 数の増加を図るとともに生活改善を支援します。	保健センター (健幸政策課)	2	動機付け支援 積極的支援 (各終了者数・ 人)	121 29		109 23	○	継続	個別指導等を充実させ、実 施することができた。	
11	50	(2)	健康相談体制の確 立	健診結果の動向や市民の要望にあわせてテーマを 設定しての健康相談や、個人の状況にあわせた訪 問指導や電話・面接相談により、健康の維持・向上 を支援します。	保健センター (健幸政策課)	2	A:健康相談会の 集団指導者数 (人)およびB:同 個別相談者数 (人)	A:80 B:176		A:36 B:201	○	継続	集団指導や個別指導を実 施することができた。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第4章 子どもの健康づくり

基本施策1 親と子の健康（母子保健）

【施策の推進方向】

- (1) 乳幼児の高い健診受診率を維持しながら、健診未受診者の把握に努め、関係機関と連携を強化し、健康診査や健康相談等の母子保健事業をきめ細かく実施していきます。
- (2) 妊娠期から子育て期にわたって、保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう切れ目のない相談支援体制をより充実していきます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 新規開始 ◎：目標を上回った
- 維持または継続 ○：概ね目標通りだった
- 増加またはさらに推進 △：目標を下回った★
- その他★ ×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	55	(2) (2)	子育て世代包括支援センター(母子健康包括支援センター)	妊娠期から子育て期にわたるまで関係所管と連携し、こども・若者ステーションと保健センターで一体的に切れ目なく支援をします。	こども若者相談センター (こども・若者ステーション)・ 保健センター	2	支援プラン会議 (回/年)	12	12	12	○	拡充		令和6年度よりこども家庭センターとして、対象者等を整理し、合同ケース会議でより充実したサポートプランを策定していく。
2	55	(2)	母子健康手帳の交付	妊娠や出産、親になることに主体的に取り組めるよう母子健康手帳を交付し、支援します。	保健センター (健幸政策課)	2	妊娠早期の母子健康手帳交付数	95.56%	96%	96.00%	○	継続	※妊娠早期とは妊娠11週以内の届出のこと。	
3	55	(2)	妊婦健康診査費助成事業	妊婦健康診査費用の一部を助成します。	保健センター (健幸政策課)	2	妊婦健康診査費助成利用者数(件/年)	860		943	○	継続	1人あたり上限100,000円助成。	
4	55	(2)	妊婦への面接指導	妊娠届出や妊婦健康診査費助成申請時等に相談、保健指導を行います。また、支援を要する妊婦や家庭を早期に把握し、必要時には、関係所管と連携し妊娠からの支援を行います。	保健センター (健幸政策課)	2	妊婦への面接数(件/年)	908		923	○	継続	面接の機会に保健指導を実施し支援した。	
5	55	(2)	マタニティマークの普及と啓発	母子健康手帳交付時にマタニティキーホルダーなどを配布するとともに、市のホームページなどにより、市民への周知、啓発に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2	マタニティキーホルダーの交付割合(%)	100%	100%	100%	○	継続	母子健康手帳交付時にマタニティキーホルダーを配布し啓発した。	
6	55	(2)	妊娠中の学習会	出産の準備や沐浴実習などの学習会を実施します。妊娠期からの仲間づくりにつなげ、子育て期の孤立や育児不安の軽減を図ります。また、父親の育児や家事への参加意欲の向上に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2	母親学級と両親学級の回数(回/年)	23回	32回	33回	○	継続	母親学級 12回/年 両親学級 11回/年	
7	55	(2)	妊婦への訪問	妊婦の要望に応じて、出産に関する相談や保健指導を家庭に訪問して行います。また、必要により関係機関と連携し、妊婦とその家族を支援します。	保健センター (健幸政策課)	2	妊婦訪問件数(件/年)	16件		23件	○	継続	希望者と必要な方へ訪問支援を実施した。	
8	55	(2)	早期の養育支援	妊娠から出産や育児について、養育上の支援を要する家庭を早期に把握し、適切なフォローに努めます。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	こども・若者ステーション等の関係機関と連携し支援に努めた。	
9	55	(2)	支援を要する母子への保健指導	母子の心身の健康管理や保持増進のため、訪問希望のある人や若年や高齢妊婦などの支援を必要とする人へ家庭訪問等を行い、産後の生活や育児に関し必要な保健指導を行います。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	様々な事業を通して、保健指導を行い支援した。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第4章 子どもの健康づくり

基本施策1 親と子の健康（母子保健）

【施策の推進方向】

- (1) 乳幼児の高い健診受診率を維持しながら、健診未受診者の把握に努め、関係機関と連携を強化し、健康診査や健康相談等の母子保健事業をきめ細かく実施していきます。
- (2) 妊娠期から子育て期にわたって、保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう切れ目のない相談支援体制をより充実していきます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
10	55	(1)	乳幼児健康診査	乳幼児の健康の保持増進のため、疾病又は異常の早期発見に努めるとともに、身体的発育及び精神的発達並びに社会適応に関する指導や相談を行い、支援していきます。	保健センター (健幸政策課)	2	受診率(%)	99.3%	99%	99.9%	○	継続	4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施し、指導や相談を行った。	
11	55	(1)	未熟児養育医療制度	未熟児養育医療制度に基づき、医療費等を給付します。	保健センター (健幸政策課)	2	給付件数 (件/年)	29	—	23件	○	継続		
12	55	(2)	赤ちゃん交流会	親子で気軽に集え、相談できる場として、地区の公民館等で赤ちゃん交流会を開催し、保健師等による育児相談とともに、地域の方々や活動グループの協力を得て、体操などを行います。	保健センター (健幸政策課)	2	実施回数 (回/年)	0		0回	×	継続	R5年度は 主任児童委員が開催する「まちの子育てひろば」と共同実施し、31回実施。	
13	55	(1)	幼児精神精密健康診査	医師などによる発達相談、助言により子どもの健全な発達を促します。必要に応じて、療育機関などを紹介します。	保健センター (健幸政策課)	2	実施回数 (回/年)	31	30回	27回	○	継続		
14	55	(2)	就学までの継続支援	3歳児健康診査の終了後においても、保健や福祉、教育の各分野が相互に連携して、子どもの成長に応じた支援を切れ目なく行います。	保健センター (健幸政策課)	2	相談票の回収率 (%)	90.7%	85.0%	90.2%	○	継続	5歳児子育て相談票の未提出者に対して、相談票を再送付した。	
15	55	(2)	不育症治療支援事業	不育症についての検査及び治療を受けられた夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、医療保険が適用されない検査及び治療費の一部を助成します(所得制限あり)。	保健センター (健幸政策課)	2	不育症治療支援事業助成件数 (件/年)	4		5件	○	継続		

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第4章 子どもの健康づくり

基本施策2 思春期保健対策の充実（学校保健等）

【施策の推進方向】

- (1)喫煙や飲酒、薬物乱用の防止を図るため、イベント等を通して啓発を強化します。
- (2)体と心の健康を自らがつくるなど、体と心を一体としてとらえた教育や相談を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	58	(1) (2)	関係機関の連携による健康や栄養指導	学校医や学校歯科医、学校薬剤師等の専門家との協力体制を推進し、健康や栄養指導の充実を図ります。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	定期健診や学校環境衛生検査、学校保健委員会等で学校医等と連携をとっている。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	定期健診や嘱託医・学校医講座等で連携をとっている。	
2	58	(2)	スポーツ活動の推進	クラブ活動において、健康スポーツ医学の考え方を取り入れた運動を奨励し、スポーツを通して健康の保持や増進を図ります。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	契約している医師と連携し研修を行っている。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	運動遊び、体操教室の実施などで体を動かす機会を取り入れている。	
3	58	(1) (2)	健康教育の推進、保健学習や指導	生涯を通じて生命を大切に、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進と児童や生徒の心のケアの充実のために、心と体を一体としてとらえた保健学習と指導に努めます。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	教育活動において、保健学習を適宜行っている。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	教育・保育活動において、養護教諭等が保健学習や指導を適宜行っている。	
4	58	(2)	児童生徒のための相談体制の整備	児童や生徒の心の問題に迅速に対応し、気軽に相談できる体制を整備します。	こども若者相談センター (教育支援センター)	2	教育相談の相談延べ回数	5,939		6,682	○	継続	令和4年度と比較すると電話相談が増加し、面接相談が減少した。	新規の相談ケースへの早期対応の実現を進めていく。
5	58	(2)	教職員の指導力の向上	いじめやカウンセリングなどに関する教職員の研修を充実させ、児童や生徒の心の健康を推進する実践的な指導力の向上に努めます。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	適宜、研修を行っている。	
6	58	(2)	児童生徒の心の健康問題に対する総合支援	ストレスの増大などにより、心に問題を抱える児童生徒やLD(学習障害)やADHD(注意欠陥多動性障害)などを含む特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個々の状況に応じ支援が求められている中、関係機関と連携しながら、充実したカウンセリングの構築をめざします。	こども若者相談センター (教育支援センター)	2	教育相談の相談延べ回数	5,939		6,682	○	継続	令和4年度と比較すると電話相談が増加し、面接相談が減少した。	必要に応じて、情報共有を実施していくことで、関係機関と連携を図りながら、支援を進めていく。
7	58	(2)	不登校生への支援	不登校については、児童生徒の思いを受けとめ、理解を深めながら、保護者や関係機関の連携強化に努めます。	こども若者相談センター (教育支援センター)	2	適応教室登録者数	54		74	○	継続	全小・中学校に校内サポートルームが配置された事等により、セオリアの登録者数が昨年と比較して減少した。	登録があるものの、セオリアへの通室に至らない児童生徒もいる。通室に至らない児童生徒への支援については、今後の課題である。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第4章 子どもの健康づくり

基本施策2 思春期保健対策の充実（学校保健等）

【施策の推進方向】

- (1)喫煙や飲酒、薬物乱用の防止を図るため、イベント等を通して啓発を強化します。
- (2)体と心の健康を自らがつくるなど、体と心を一体としてとらえた教育や相談を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
8	59	(1)	アルコールやたば こ、薬物対策の強化	飲酒や喫煙、シンナー、薬物乱用の防止に努めると ともに、心身に与える影響について正しい知識の普 及に努めます。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	保健の授業等で学習してい る。	
9	59	(1) (2)	学校安全の推進	児童や生徒の安全意識を高め、学校管理下におけ る事故の減少を図るなど、学校安全の一層の推進 を図ります。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	各校で学校保健委員会等を 開催している。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	交通安全指導や防災訓練、 保健指導などを実施してい る。	
10	59	(1) (2)	家庭や地域、学校 の連携による学校 保健活動	学校保健会での取り組みや保健教育などを通して、 学校関係者のみならず、家庭や地域との連携を深 め、三位一体となった学校保健活動を推進します。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	各校で学校保健委員会等を 開催している。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	保健だより等を通じて家庭・ 保護者への啓発を実施して いるが、地域との取り組み については、その方法を検 討する必要がある。	
11	59	(1) (2)	学校保健会の充実	学校園における保健活動を組織的かつ円滑に推進 するため、学校保健会の一層の充実を図ります。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	県学校保健会等上位団体と の連携をとっている。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	職員会議や部会等におい て、保健関係の課題につい て協議したり、解決に向け て共通理解をしている。	
12	59	(1)	家庭での健康づくり 支援	生活の基盤である家庭で、心の健康や正しい食生 活、適切な運動など健康づくりのための知識を家族 ぐるみで学べるよう、効果的な啓発活動に取り組み ます。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	保健だよりや掲示物等を通 じて、学校から適宜啓発し ている。	
		(2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	保健だよりや保健指導を通 じて園児及び家庭への啓発 を実施している。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第5章 歯と口の健康づくり

基本施策1 生涯を通じた歯科疾患の予防と歯と口の働きの維持・向上

【施策の推進方向】

- (1) 関係機関との連携により、ライフステージに応じた歯科保健事業に取り組み、「8020運動」の推進に努めます。
- (2) 「噛む・かむ・カミング 健康づくり ～ひとくち30回運動～」を推進するため、「よく噛み、飲み込む力」の育成に取り組むことで、口腔機能の維持・向上を図り、生涯にわたる歯と口の健康づくりを推進します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1. 新規開始 ◎: 目標を上回った
2. 維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
4. その他 ★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4) の数値				
1	66	(1)	妊婦歯科健診 妊婦歯科保健指導	妊娠をきっかけに、重症化しやすい歯周病の予防や妊娠中につくられる子どもの歯についての知識等、母子ともに生涯健康な自分の歯で過ごすための情報を提供します。 ・妊婦歯科教室(母親学級) ・妊婦歯科健診(歯科医院)	保健センター (健康政策課)	2	妊婦歯科教室 参加者 妊婦歯科健診 受診率	67人 29.8%		40人 26.5%	○	継続	母親学級2回コースの内1 回目に歯科保健指導を実施 した。	
2	67	(1) (2)	乳幼児歯科健診 乳幼児歯科保健指 導	母子保健法に基づく乳幼児歯科健診と、歯科保健指導により、乳歯から永久歯への健全な口腔の育成や食べる力を育てるための情報提供や支援をします。 ・もぐもぐ離乳食教室 ・1歳児親子歯科健診 ・1歳6か月児健康診査歯科健診 ・2歳児のびのび教室 ・3歳児健康診査歯科健診 ・2. 6歳児・3. 6歳児歯科健診 ・4歳児・5歳児歯科健診 ・保育所歯みがき指導	保健センター (健康政策課)	2	乳幼児健診・教 室 参加者 ・法定健診 ・その他 保育所指導	1989人 1223人 371人		1983人 1100人 215人	○	継続	周知方法や希望者への個 別案内等を実施した。	
		(1) (2)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2					○	継続	歯科医師会や予防歯科セン ターと連携し、啓発してい る。	
3	67	(2)	学校歯科検診 歯科保健啓発事業	毎年の歯科検診に加え、乳歯から永久歯への交換期にあわせて歯みがきの確認や、むし歯や歯周病の知識を普及啓発します。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	歯科医師会と連携し、啓発 している。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第5章 歯と口の健康づくり

基本施策1 生涯を通じた歯科疾患の予防と歯と口の働きの維持・向上

【施策の推進方向】

- (1)関係機関との連携により、ライフステージに応じた歯科保健事業に取り組み、「8020運動」の推進に努めます。
- (2)「噛む・かむ・カミング 健康づくり ～ひとくち30回運動～」を推進するため、「よく噛み、飲み込む力」の育成に取り組むことで、口腔機能の維持・向上を図り、生涯にわたる歯と口の健康づくりを推進します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4) の数値				
4	67	(1) (2)	歯周病検診 歯周病予防啓発事業	歯周病の予防と早期発見のため、予防歯科センターや歯科医院で歯科健診や歯科相談を実施します。また、口腔がん検診を実施します。	保健センター (健幸政策課)	2	歯周病健診(集 団)受診者数	506人 (内後期 高齢者 63人)		532人 (内後期 高齢者 69人) 38人	○	継続		
		(1)		・市民歯科健診 ・健康診査歯科健診(後期高齢者含む) ・口腔がん検診 ・歯科相談 ・成人歯科健診(歯科医院)	医療助成・年金課	2	成人歯科健診 受診率	5.75% (1111人)		6.32% (1243人)	○	継続		
5	67	(2)	食と歯の健康教室	生活習慣病を予防、改善するための食生活や歯と口の健康、口腔機能の維持等についての教室を実施します。 ・生活習慣病予防教室	保健センター (健幸政策課)	2	参加者の増加	80人		135人	△	継続		
6	67	(1) (2)	歯と口の健康 セミナー	全身の健康ともかかわりの深い歯と口の健康に必要な最新情報の提供や口腔疾患の予防・治療のセミナーを開催し、生涯を通じた歯と口の健康づくりに関する知識を普及啓発します。	保健センター (健幸政策課)	2	参加者の増加	143人		105人	◎	継続		
7	67	(1) (2)	歯と口の健康 週間事業	一生自分の歯でおいしく食べ、楽しく健康に生活するため、基本となる「歯と口の健康」について意識啓発となる事業や催しを行います。	保健センター (健幸政策課)	2	参加者の増加	1101人		1062人	○	継続		
8	67	(1) (2)	「かかりつけ歯科 医」の推進 定期歯科健診・定期 歯石除去の啓発	歯と口に対する保健・医療・福祉を提供する「かかりつけ歯科医」を市民が持ち、定期的に歯科健診、歯石除去を受けるよう啓発に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2	市民実感調査 (年1回以上健 診を受けてい る)	52.50%		50.40%	○	継続		

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第5章 歯と口の健康づくり

基本施策2 支援が必要な人の健康づくり

【施策の推進方向】

- (1) 定期歯科健診等の推進により、歯科疾患を予防し、早期発見・早期治療を促すとともに、口腔機能の回復や維持・向上のための支援に取り組みます。
- (2) 高齢者の歯の喪失予防や口腔機能の低下を防止することで、8020健康長寿の推進を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	70	(2)	正しい知識の普及と啓発	講演会や口腔ケア研修会などで、口腔ケアの必要性や実習ができる機会を提供します。また介護予防教室などで要介護になる前からの健康教室や嚥下体操など、歯と口や栄養に関する情報を発信します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	各種教室等で定期歯科健診、歯面清掃の重要性について啓発した。	
		(2)			介護保険課	3					○	継続	介護予防教室では、リハビリ専門職との連携体制を継続し、運動だけではなく、オーラルフレイルや栄養について普及・啓発を行うことができた。	介護予防事業の取組の中で、継続してオーラルフレイルや栄養について普及啓発を実施する。
2	70	(1) (2)	通所歯科診療	一般の歯科医院では治療が困難な要介護高齢者や障がい者(児)の歯科診療を実施します(ふれあい歯科診療所)。	保健センター (健幸政策課)	2		要介護高 齢者 672人 障がい者 963人		要介護高 齢者 625人 障がい者 1,010人	○	継続		
3	70	(1) (2)	訪問歯科診療 訪問口腔ケア	訪問による歯科診療や口腔ケアについて、市歯科医師会立訪問歯科センターとふれあい歯科診療所との連携を図ります。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	歯科医師会立訪問歯科センターと連携し、訪問ではできない部分の診療を安全に行うことができた。	
4	70	(1)	「かかりつけ歯科医」の推進 定期歯科健診・定期 歯石除去の啓発【再掲】	歯と口に対する保健・医療・福祉を提供する「かかりつけ歯科医」を市民が持ち、定期的に歯科健診、歯石除去を受けるよう啓発に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2		52.50%		50.40%	○	継続		

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 健康的な食生活の啓発を進めます。
- (2) 自然の恵みに気づき、感謝する豊かな心をつくります。
- (3) 家庭での団らんや、学校や保育所等での共食から、食の楽しさやマナーを知り、絆を深めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った
- 4.その他 ×:今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	79	(1) (2) (3)	健診や各種教室を通じた食育の啓発	健(検)診後の健康相談会や各種健康教育のほか、健やかな出産・発育を導くとともに、母性を育む食生活や日常生活での健康的な食生活の営みについて啓発します。	保健センター (健幸政策課)	2	食生活関連の健康教育実施者数[成人・母子合計](人)			1,301	◎	継続	乳幼児健診等での集団指導を実施し、幅広く食育の啓発を行うことができた。	
2	79	(2)	保育所、幼稚園、学校における、収穫体験や農業体験の充実	田植えや稲刈り、芋ほりなどの農業体験など、栽培・収穫活動を実施します。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	小学校では、生活科や、総合的な時間の学習で体験している。	
		(1) (2) (3)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2	栽培・収穫を通じた食育活動				○	継続	敷地内の畑やプランター、地域にお世話になる等、工夫し取り組んでいる。	
3	79	(1) (2) (3)	学校における食育の推進	「学校における食育の目標と基本方針」に基づきながら、これまで取り組んできた食育を市健幸まちづくり計画(第2次市食育推進計画)と整合を図り、各学校において組織的・計画的に、さらに充実して実践します。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	新規	食に関する指導の全体計画を作成し、それに基づき教育活動を行う。	
4	79	(1) (2) (3)	保育所における食育の推進	市健幸まちづくり計画(第2次市食育推進計画)と整合を図った保育所食育計画を策定し、各保育所において組織的・計画的に食育を実践します。	給食課 (幼児教育保育課)	2	園所食育ガイドラインの見直しと、それに基づく園所での実践				○	継続	(市立保育所・こども園)H30年度に策定したガイドラインの見直しを行い、令和6年3月に改訂版を発行	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 健康的な食生活の啓発を進めます。
- (2) 自然の恵みに気づき、感謝する豊かな心をつくります。
- (3) 家庭での団らんや、学校や保育所等での共食から、食の楽しさやマナーを知り、絆を深めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った
- 4.その他 ×: 今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
						計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値			
5	80	(1) (2)	給食内容の充実	保育所や学校での給食を通じて、子どもの食への関心を深めます。また、子どもたちの誰もがより良い給食を食べることができるよう環境を整備します。食物アレルギーを有する子どもについても、各家庭における定期的なかかりつけ医の診断と処方箋に基づきながら、保護者と担任と給食担当者らが連絡を密にし、健やかな成長や発達に支障が出ないように努めます。	給食課 (学務課)	2					○	継続	(学校)(市立保育所・こども園)概ね予定通りに給食を実施できた。
		(1)			教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	各校の栄養士や給食担当教師等が家庭と連携を取っている。
		(1)			教育保育課 (幼児教育保育課)	2	個別対応ケース 応諾率の向上				○	継続	個別対応ケース(アレルギー、その他疾患等)の応諾要望に、園所・家庭で出来ること出来ないことを各保護者と共有したうえで、家庭と園所、給食担当が連携をとって進めている。
6	80	(3)	給食を通した子どもの豊かな心の育成	安定した人間関係と楽しい雰囲気の中で様々な食活動を体験し、豊かな心を育むとともに正しい食事マナーの習得を図ります。	給食課 (学務課)	2					○	継続	食に関する指導の全体計画に基づき、給食指導を通してマナーの体得に努めた。
		(1) (2) (3)			教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	
		(2) (3)			給食課 (幼児教育保育課)	2	食器・食具の検証と見直し				○	継続	(市立保育所・こども園)H30年度に策定したガイドラインに基づき、児童の年齢区分や献立等に応じて食器・食具を選定して活用している。令和5年度に食育PTを立ち上げ、食具についての取扱いの見直しを行った。
7	80	(1) (2)	給食だより・献立表などによる啓発	給食だよりや献立表などを通じて、食の大切さや家族団らんの大切さ、栄養に関する情報提供等を行います。	給食課 (学務課)	2	毎月の献立表の配布	11回	11回	11回	○	継続	給食だよりや献立表のコラムを通じて情報提供を行った。
		(1) (2) (3)			給食課 (幼児教育保育課)	2	毎月の給食だよりと献立カレンダーの発行(回)	12	12	12	○	継続	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 健康的な食生活の啓発を進めます。
- (2) 自然の恵みに気づき、感謝する豊かな心をつくります。
- (3) 家庭での団らんや、学校や保育所等での共食から、食の楽しさやマナーを知り、絆を深めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った
- 4.その他 ×:今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
8	80	(1) (2) (3)	子どもを対象とした講座・調理実習等の開催	子どもを対象とする食育の講座、家庭科や特別活動での調理実習や調理体験を実施し、子どもの食育への関心を高めます。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	教育活動の中で適宜行っている。	
		(1) (2) (3)			給食課 (幼児教育保育課)	2	クッキング活動				○	継続	保育や教育活動の中で適宜行っている。	
9	80	(1) (2) (3)	就学前児童に対する食育にかかわる情報の発信	保育所の子育て支援ルームなどを活用し、未就学児を対象とした食育にかかわる情報を発信します。	教育保育課 (幼児教育保育課)	2	各種行事等でパ ネル展示、映像 放映、レシピ集 の配布				○	継続	子育て支援ルームなどにおいて、食育に関する冊子や掲示物などで情報発信を行った。	
10	80	(1)	小児生活習慣病検診の実施	生活習慣病の予防及び早期発見のため、市医師会への委託により、小学4年生を対象に、生活習慣のアンケート調査と精密検査(血液検査、体脂肪・血圧測定等)、希望者に個別で食事や運動指導、講演会を行う「小児生活習慣病検診」を実施します。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	例年医師会と連携し、実施している。	
11	80	(1) (2) (3)	川西市PTA連合会(厚生給食委員会)への支援	子どもの健やかな成長とともに保護者の子育てを支援する活動の一環として、調理師との懇談会や食育学習会、親子クッキング、給食試食会、大学学食ツアーなどを実施されているPTA連合会の活動を支援します。	教育保育課 (社会教育課)	2					×	廃止	令和2年度より組織改編で厚生給食委員会が廃止されたため	
12	80	(1)	かわにし健幸れすとらんの実施	地域の飲食産業を通じた市民の健康づくりと地域振興を図るため、ヘルシーメニューの提供やヘルスサポートを実施する飲食店を認定し、市ホームページで「かわにし健幸れすとらん」として市民へ紹介します。	国民健康保険課	2					△	廃止	令和5年度は新規店舗の掲載がなかったため(データヘルス計画上では、5店舗掲載を目標としている)。	データヘルス計画の見直しにより、令和5年度末をもって事業廃止。
		(1)			保健センター (健幸政策課)	2					△	廃止	新規店舗掲載のための栄養価計算依頼はなかった。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 健康的な食生活の啓発を進めます。
- (2) 自然の恵みに気づき、感謝する豊かな心をつくります。
- (3) 家庭での団らんや、学校や保育所等での共食から、食の楽しさやマナーを知り、絆を深めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った
- 4.その他 ×:今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
13	80	(1)	災害など非常時の 備えへの啓発	災害に備え、市地域防災計画に基づき計画的な食糧等の備蓄を行うとともに、家庭での食糧等の備蓄についても啓発を行います。また、初期の避難所などでの食生活支援マニュアル等の定期的な見直しや検討を行います。	危機管理課	2					○	継続		①市地域防災計画に基づき備蓄を継続的実施 ②市防災訓練を地域と協働で行う。その際、避難所開設訓練、炊き出し訓練等で災害への備えを実践 ③市ホームページ、出前講座、地域の防災訓練などを通じて 備蓄の必要性の周知
		(1) (3)			保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	兵庫県市町栄養士連絡協議会阪神ブロックにて「避難所等の栄養・食生活支援マニュアル」の見直しについて検討した。	現状に沿った内容にするため、定期的にマニュアルの更新や啓発を行う。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策2 “食”からひろがる地域のつながり ～地域における健全な食環境と循環～

【施策の推進方向】

- (1) 地産地消を知って、ふるさと川西を味わえる施策を進めます。
- (2) 食に関する環境にやさしい生活の大切さを啓発します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った
- 4.その他 ×: 今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	84	(2)	食の安全・安心に関 する知識の普及と啓 発	正しい知識に基づいて食材を選択できるよう、食の 安全に関する知識の啓発や情報提供を行います。	教育保育課 (学校教育課)	2					○	継続	原則、国のガイドライン等に 応じ、指導内容を検討して 通知している。	
		(2)			保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	市ホームページの活用、チ ラシを作成し配布すること で、食に関する知識の啓発 や情報提供を行った。	
2	84	(1)	地場産物の販売	市内3か所の農産物直売所を通して地場産野菜の 販売を支援し、生産者の顔が見える地場産物直売 所の販売促進を図ります。	産業振興課	2	直売所PRチラシ 発行数(枚)	16	100	200	○	継続	令和5年度より市ホーム ページに掲載されている直 売所掲載数を実績値としま す。	「川西そだち」のほりを地域 の直売所や市内産農産物 を扱う小売店に配布する。
3	84	(1)	特産品のPR	特産である「いちじく」、「もも」などの即売会の開催 や、農産物直売所への支援を行います。	産業振興課	2	いちじく・ももの 即売会等の来 場者数(人)	520	1,100	600	○	継続	桃: 実施 いちじく: 中止	継続して、市広報誌や市 ホームページにて周知を 行っていく。
4	84	(1) (2)	食の情報を得る力 の向上をめざす啓 発	消費者啓発団体と協働し、食生活に関する正しい情 報を的確に得るための啓発や情報提供を行いま す。	生活安全課(消費 生活センター)	2					△	継続	出前講座のPRを令和4年度 ほど出来なかったため、食 に関する出前講座は0回と なった。	
5	84	(1) (2)	給食における日本 型食生活の充実	日本型食生活が実践できるようになるとともに、給 食に地場産物の活用や旬の食材が提供できるよ う、関係機関との連携を図ります。	給食課 (学務課)	2					○	継続		
		(1) (2)			給食課 (幼児教育保育課)	2	「和食給食」の 推進				○	継続	JAや青果業者と連携し、地 場産物の活用、旬の食材の 使用に努めた。	
6	85	(2)	米飯給食の推進	平成22年9月末からの完全米飯給食の取り組みを 機に、給食を食べる子ども、給食を提供する職員 も、食育のあり方を考え、さらなる発展をめざしま す。	給食課 (学務課)	2	残食率(主菜及 び副菜)	1.78%	1%	1.61%	○	継続	(学校) 計画策定時に給食を実施し ていた小学校での数値	中学校給食を含めた評価指 標の見直し

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策2 “食”からひろがる地域のつながり ～地域における健全な食環境と循環～

【施策の推進方向】

- (1) 地産地消を知って、ふるさと川西を味わえる施策を進めます。
- (2) 食に関する環境にやさしい生活の大切さを啓発します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った
- 4.その他 ×: 今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
7	85	(2)	にぎわいの創出	より多くの市民が地域で交流することや商業の振興などを通じて、多様な食育の考え方の裾野をひろげていきます。	保健センター (健幸政策課)	2	広報誌「おとなも子どもも食と育つ」コーナーへの参画部署・団体数	4		4	○	継続	市広報誌「食と育つ」のコラムにて、食育ピクトグラムのテーマに基づいて実施した。地産地消や旬の食材を使ったレシピを取り上げた。	
		(1) (2)			産業振興課	2	かわにしまるまるマルシェの来場者数(人)	0	1,100人	0	×	継続	かわにしまるまるマルシェを農産物直売支援事業に付け替えた。	・「川西そだち」のほりを地域の直売所や市内産農産物を扱う小売店に配布する。 ・農産物直売支援事業を実施する。
8	85	(2)	ごみ減量に向けた啓発	ごみ減量出前講座、ごみ減量チャレンジ・モニター制度等を通じて、リデュース(発生抑制)やリユース(再使用)、リサイクル(再生利用)をひろげる啓発を行います。	美化推進課	2	ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会開催回数(回)	9	25	10	△	継続	開催件数の増減はほぼ無し。(ごみ減量出前講座3回、子ども向け6回実施)特にごみ減量出前講座は好評をいただいている。	講座や学習会のプログラム内容について、ごみ減量の効果が得られるように創意工夫する。
9	85	(2)	食品廃棄物の減量に向けた取り組みの充実	「食べ残しゼロ運動」を推進するとともに、生ごみを堆肥化して、有効活用できるよう支援するなど、食品廃棄物の減量に取り組みます。	美化推進課	2	川西市食べ残しゼロ運動協力店舗数(店)	36	38	37	△	継続	登録店舗がテイクアウト中止の関係で1店、減少となった。引き続き市内在住者の食品ロス削減の取り組みをホームページにて紹介。	食べ残しゼロ運動に協力していただける店舗に声をかけ、店舗数を増やす。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～第2次川西市食育推進計画～（基本目標“食”からひろがる「健幸」まちづくり 食育推進による健幸まちづくり（第2次食育推進計画））

基本施策3 次世代へつながり、ひろがる食育の“輪” ～食育を育み 守り 継ぐしくみ～

【施策の推進方向】

- (1) “食”に関する情報を得やすいネットワークづくりを進めます。
- (2) 家庭や地域における食育活動をひろげます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎：目標を上回った
- 2.維持または継続 ○：概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △：目標を下回った
- 4.その他 ×：今年度実施せず

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小
- ・廃止

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	90	(1)	かわにし健幸れすとらんの実施 【再掲】	地域の飲食産業を通じた市民の健康づくりと地域振興を図るため、ヘルシーメニューの提供やヘルスサポートを実施する飲食店を認定し、市ホームページで「かわにし健幸れすとらん」として市民へ紹介します。	国民健康保険課	2					△	廃止	令和5年度は新規店舗の掲載がなかったため(データヘルス計画上では、5店舗掲載を目標としている)。	データヘルス計画の見直しにより、令和5年度末をもって事業廃止。
		(1)			保健センター (健幸政策課)	2					△	廃止	新規店舗掲載のための栄養価計算依頼はなかった。	
2	90	(1)	地産地消に関する 情報提供	地場産農産物の販売所などの情報を収集し、ホームページや各種の広報媒体を利用しながら情報発信を推進します。	産業振興課	2	直売所やマルシェ等の情報についてのホームページや広報への記事掲載(掲載数)	16	10		○	継続	HP直売所マップ登録件数(令和5年度より市ホームページに掲載されている直売所掲載数を実績値とします。)	
3	90	(1) (2)	食を通じた産業振興の 支援	地域が主体となって企画し参画する「きんたくんバル」など、食を通じた産業振興の取り組みを支援します。	産業振興課	2	バルへの参加店舗数(店舗)		50	0	×	廃止	R元年度に廃止	
4	90	(1) (2)	食育に関する地域の 社会資源との連 携による推進	食育に関する社会資源と、引き続き連携を図り、家庭や地域に食を通じた取り組みが浸透するよう支援を行います。	保健センター (健幸政策課)	3	地域組織や食育関連団体との連絡会や会議の開催、または出席			1	○	継続	健康づくり推進協議会に参加した。	地域の社会資源と連携し、市の食育施策の方向性を継続して協議していく。
5	90	(1) (2)	「食育月間」、「食育 の日」の普及と啓発	国の食育推進基本計画で定められた6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」、県で定められた10月の「ひょうご食育月間」にあわせて、市独自のスローガンと行動目標や、減塩や野菜摂取などを勧め、また、家族や友人と一緒に楽しく食事をとることなどを普及啓発します。	保健センター (健幸政策課)	2	食育啓発媒体を用いた効果的な周知(かわにし食育カレンダーの配布)			3755	○	継続	薬剤師会や教育委員会等を通して市内の薬局や小中学校・市立園所等でも配布した。今後も食育関連部署と連携し、幅広く啓発していく。	
6	90	(1)	食育啓発の推進	栄養・食生活に関する積極的な情報提供に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2	食育啓発媒体を用いた効果的な周知(かわにし食育推進だよりの配布)			2000	○	継続	「かわにし食育推進だより第4号」を発刊した。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第7章 スマートウェルネスシティの健幸まちづくり

基本施策1 健幸まちづくりの推進

【施策の推進方向】

- (1) 人がまちに出かけたくなるよう支援します。
- (2) 健幸をささえ、守るための地域づくりを進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	98	(1) (2)	健幸マイレージ制度	運動・スポーツ無関心層に対して、健康ポイントの付与や歩数などのデータの見える化を図ることで、行動変容の喚起を促し、運動・スポーツの習慣化につなげることで、健康寿命の延伸をめざします。	保健センター (健幸政策課)	3	新規参加者数 (人)		1,000	1,428	×	廃止	令和4年度で終了し、令和6年度に向け、歩くことを基本とする取組について検討した。	令和6年度に介護予防・健康ポイント事業を開始する。
2	98	(1) (2)	きんたくん健幸体操	大学と提携して新しく作製した「きんたくん健幸体操」をみんなで行うことにより心身の健康づくり、地域とのふれあい、仲間づくりを推進します。	保健センター (健幸政策課)	2	Let'sきんたくん 健幸体操参加 人数(人)	128		0	△	縮小	きんたくん健幸体操は新型コロナウイルス感染症の5類移行後に総合体育館でのLet'sきんたくん健幸体操を再開したため、十分な普及を行うことができなかった。また、参加人数が減少したため、リーダー会での話し合いにより、令和5年度で終了することとした。	令和6年度は、きんたくん健幸体操リーダー派遣のみ実施。継続を含め検討していく。
3	98	(1) (2)	出前健幸測定会	出前健幸測定会を地域・コミュニティ組織等と協働して行うことで自らの健康づくりへの気づきを促すとともに、身近な地域での交流や健幸の仲間づくりを推進します。	保健センター (健幸政策課)	2	実施回数(回)	3		3	○	継続		
4	98	(1) (2)	地域介護予防活動 支援事業	きんたくん健幸体操＜転倒予防・いきいき百歳体操編＞による通いの場づくりを推進します。	介護保険課	3	通いの場の自主 グループ数	53 (新規:9 解散:1)	58	45 (新規:7)	△	拡充	目標値には達していないが、マンネリ化やモチベーションアップを目的とした交流会を委託地域包括支援センター(4圏域)と共催で開催し、更なる活性化に努めた。また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る事業を踏まえた、プログラムの見直しを行った。	・新規グループが立ち上がるための活動の動機付けにつながる仕組みの検討 ・自主活動グループが活動を継続できるための支援体制の検討
5	98	(2)	健康遊具の設置	健康遊具を公園に設置し、気軽に健康づくりができる機会を提供します。	公園緑地課	3	・健康遊具がある公園数(箇所) ・健康遊具の設置数(基)	・66箇所 ・128箇所		・65箇所 ・127箇所	○	継続	健康遊具の新設有り。	必要性に応じて健康遊具の設置を進める。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第7章 スマートウェルネスシティの健幸まちづくり

基本施策1 健幸まちづくりの推進

【施策の推進方向】

- (1) 人がまちに出かけたいよう支援します。
- (2) 健幸をささえ、守るための地域づくりを進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
6	98	(1) (2)	健康イベントの実施	キセラ川西せせらぎ公園等を活用したウォーキングなどのイベントを実施し、身近な健康拠点としての利用を促進します。	保健センター (健幸政策課)	2	運動習慣化イ ベント参加者数 (人)			0	×	廃止	令和3年度で終了	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第7章 スマートウェルネスシティの健幸まちづくり

基本施策1 健幸まちづくりの推進

【施策の推進方向】

- (1) 人がまちに出かけたいよう支援します。
- (2) 健幸をささえ、守るための地域づくりを進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画 策定 時の 目標の 方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
7	98	(2)	地域活動への参加の促進	市民に地域での活動の重要性を知ってもらい、市民が参加したくなるような活動をコミュニティ組織や自治会が行えるよう支援します。	参画協働課	3	自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合	32.5%	50%	30.8%	△	継続	「参加している」と回答した方は、令和4年度より微増となったが、目標値には届いておらず、継続した取組が必要。	参加している方が今後も継続して活動してもらえるような仕組みと共に、活動の周知や新たな参加のきっかけづくりを検討する必要がある。
						3	自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支えあっていると思う市民の割合	46.1%	70%	40.5%	△	継続	「感じる」と回答した方の割合は増加したが、目標値には届いておらず、継続した取組が必要。	地域活動には防犯活動や緊急時の助け合いなど、平時には目に見えないが重要な活動も多いため、活動の見える化や実施主体の情報発信等でPRを行っていく必要がある。
8	98	(1)	商業の活性化	きんたくんバルなどのイベントやかわにし健幸れすとらん等を通じて、日常的な店舗の利用促進による活性化を図ります。	産業振興課	2	バルへの参加店舗数(店舗)		50	0	×	廃止	令和元年度に廃止	
		(1)			国民健康保険課	2					△	廃止	令和5年度は新規店舗の掲載がなかったため(データヘルス計画上では、5店舗掲載を目標としている)。	データヘルス計画の見直しにより、令和5年度末をもって事業廃止。
9	99	(2)	公共交通網を維持するための支援	交通環境の向上を図るために、交通事業者・利用者・地域・行政等の各役割分担によるモビリティ・マネジメント※を推進し、公共交通の維持に努めます。 ※モビリティ・マネジメント:一人ひとりの移動(モビリティ)や、街や地域交通(モビリティ)などを、それぞれに関わる主体が、色々と工夫を重ねながら改善していく取り組み。	交通政策課	3	主に鉄道やバス等の公共交通機関を利用している市民の割合	48.5%	60.0%	45.1%	△	継続	目標値に達していないため。	令和4年度以降、モビリティ・マネジメントの実施回数は増加している。今後も公共交通網維持のためモビリティ・マネジメントを実施していく必要がある。
10	99	(2)	自転車通行空間の整備	安全に通行できる自転車通行空間を整備に努めます。	道路整備課	1	11.6(km)	4.6	11.6	3.5	○	継続		

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策1 救急・災害医療の充実

【施策の推進方向】

(1) 救急・災害医療の充実について、兵庫県に働きかけるとともに、近隣市との協力体制を強化し、広域的な医療体制の構築に努めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他 ★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	101	(1)	救急医療体制の整備	地域の中核的な医療機関である「市立川西病院」での救急医療体制については、市民の安心と信頼を得られるよう、体制や連携の充実を引き続き図ります。	保健・医療政策課 (病院改革推進課)	2					○	継続	市立総合医療センターが開院し、引き続き救急患者の受入を行った。	
2	101	(1)	2次救急医療の確保	「2次救急医療」については、市内及び阪神北圏域での病院群が輪番制を維持し連携を継続します。	保健・医療政策課 (健幸政策課)	2					○	継続	宝塚市・伊丹市・川西市で輪番制により対応病院を確保した。	
3	101	(1)	関係医療機関・市民自主防災組織との連携	関係機関や自主防災組織などとの連携により、医療業務や医薬品の供給、救護所の開設など、災害時の救急医療体制が一層実効あるものとなるよう、その充実に努めます。	危機管理課	2					○	継続	地域の自主防災組織に対する出前講座や訓練により防災意識の向上と連携を図った。また、救急医療体制等の見直しに伴い、市地域防災計画を修正した。	今年も救急医療体制等の見直しに伴い、市地域防災計画を修正する。
4	101	(1)	阪神北広域こども急病センター	夜間・休日でのこどもの初期救急対応として、阪神北広域こども急病センターでの診療や電話による小児救急医療相談の周知を図ります。	保健・医療政策課 (健幸政策課)	2					○	継続	市HPや広報誌、健康づくりBOOK等に掲載し周知した。	
5	101	(1)	休日応急診療(内科)と休日歯科応急診療の実施	市医師会と市歯科医師会の協力のもと、休日応急診療(内科)や市休日歯科応急診療を開設します。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	休日歯科診療所を開設し対応した。	
					保健・医療政策課 (健幸政策課)								川西リハビリテーション病院が実施する休日内科診療へ補助金を交付し、支援した。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療の基盤づくりと疾病対策

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を充実できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立川西病院における良質で安全な医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1. 新規開始 ◎：目標を上回った
2. 維持または継続 ○：概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △：目標を下回った★
4. その他★ ×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
1	104	(1)	市民への啓発と教育	身近にかかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つよう、関係機関と連携を図りながら市民への啓発を進めます。	保健センター (健幸政策課)	3					○	継続	各医療関係機関と協力するとともに、全戸配布している「健康づくり事業のご案内」等により啓発を行った。	
2	104	(1)	かかりつけ医等の普及と定着	市広報誌の活用をはじめ、かかりつけ医等の医療マップの作成、インターネットによる情報発信など、様々なPR媒体による広報活動に努めます。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	引き続き、関係機関と協力し市民への医療情報の提供を図る。	
3	104	(1)	地域医療構想の推進	兵庫県地域医療構想による在宅医療の充実等について国・県と連携しながら施策の推進を図ります。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	県保健医療計画に基づき、関係機関と連携しながら施策の推進を図る。	
4	104	(1)	地域包括ケアシステムの推進	川西市・猪名川町在宅医療・介護連携支援センターの運営を支援することで、地域の医療・介護などの専門職の連携をサポートします。	介護保険課	2	在宅塾の開催数	4		4	○	継続	研修会等の開催により、専門職の知識向上・情報共有につながっている	
		(1)			保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	地域ケア協議会等で情報共有を図っていく。	
5	104	(1)	つながりノート	高齢者が、地域でいきいき暮らせる様に、地域見守りネットワーク構築や医師会の協力を得て医療介護情報連携ツール(つながりノート)の普及に努めます。また、つながりノートをより多くの方が活用できるように、内容改定を行い、一層の充実を図ります。	介護保険課	3	つながりノートの利用者数	95	180	63	△	継続	実態に合わせた集計方法に集計方法を変更したため利用者数が目標を達成していない	利用者拡大に向け、医療機関と地域包括支援センター等との連携が進むよう、運用の見直しと、啓発資料の作成を行う
6	104	(1)	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築	精神病床における1年以上長期入院患者が地域で生活するために必要な支援を行うにあたり、保健・医療・福祉関係者が互いに連携しながら、支援方法やそれぞれの役割などを協議する場を設置します。	障害福祉課	1					○	継続	平成30年度より川西市障がい者自立支援協議会の専門部会「精神障がい者支援部会」を、保健、医療、福祉関係者による協議の場として位置づけ、長期入院精神障がい者の地域移行、地域で生活するために必要な支援等について取り組んでいる。	地域移行については、病院とも連携して行う方法を検討していく必要がある。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療の基盤づくりと疾病対策

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を充実できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立川西病院における良質で安全な医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
7	104	(1)	医療的ケア児に対する支援体制の充実	医療的ケアを要する障がい児が適切な支援を受けられるよう、保健や医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図る協議の場を設置し、支援体制の充実を図ります。	こども支援課 (障害福祉課)	1					○	継続	平成30年度より川西市障がい者自立支援協議会の専門部会「こども支援部会」を、保健や医療、障がい福祉、保育、教育等関係機関等連携を図る協議の場として位置づけ、医療的ケアを要する障がい児への支援のあり方等について取り組んでいる。4回開催。	教育委員会で設置している川西市医療的ケア運営協議会との情報共有・連携
8	104	(1)	病診・病病連携	かかりつけ医等の活動を軸として、市民への適切な医療の提供と医療資源の有効活用を図るための「病診」及び「病病」連携への取り組みを支援していきます。	保健センター (健康政策課)	2					○	継続	医師会等と連携し取組の支援に努めた。	
9	104	(1) (2)	中核的医療機関の整備	市立川西病院では、市民の医療ニーズに的確に対応し、患者の立場に立った医療を行うとともに、良質な医療サービスの提供に取り組めます。 市立川西病院での院内感染の防止対策を推進するなど、市民に安全な医療サービスを提供するための取り組みを進めます。 将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくため、(仮称)市立総合医療センター構想案に基づき、キセラ川西センターと北部医療のあり方を検討します。	保健・医療政策課 (病院改革推進課)	2					○	継続	令和4年9月にキセラ川西地区に市立総合医療センターが開院。 令和5年4月に旧市立川西病院跡地に回復期病床を有する川西リハビリテーション病院が開院。 市内の急性期医療が充実するとともに、不足していた回復期病床についても増加した。	
10	104	(1)	感染症の予防に関する知識の普及と啓発	感染症の予防に関する正しい知識の普及と啓発活動を、兵庫県と協力して充実させます。	保健センター (健康政策課)	2					○	継続	市HPや広報誌で感染症の予防に関するPRを行った。	
11	104	(1)	感染症まん延防止対策	兵庫県健康福祉事務所や市医師会との効果的な連携を通じて、感染者の把握や消毒を行うなど、感染症まん延防止対策の充実に努めます。	保健センター (健康政策課)	2					○	継続	県や医師会と連携を図り感染症のまん延防止対策の充実を図った。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療の基盤づくりと疾病対策

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を充実できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立川西病院における良質で安全な医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
12	105	(1)	定期予防接種の推進	国における定期予防接種化などの制度変更、さらに適切に対応するため、接種機関の確保などの体制づくりとともに、市民への周知を図ります。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	市医師会を通じて医療機関に定期予防接種業務を委託。市HP、広報誌、個別通知、学校を通じた案内文書の配付、ミマモルメの活用を行った。	
13	105	(1)	高齢者に対するインフルエンザ予防接種	症状が重症化しやすい高齢者に対して、インフルエンザ予防接種が受けやすい環境を整えます。	保健センター (健幸政策課)	3	インフルエンザの予防接種を受けた高齢者の割合			53.60%	○	継続	予防接種実施期間を早め10月1日から1月31日までとした。阪神7市1町及び兵庫県広域事業における接種の利便性を図った。	
14	105	(1)	新型インフルエンザ等対策	「新型インフルエンザ等対策特別措置法」や、国や兵庫県の行動計画に基づき策定した本市の行動計画について、訓練等の実施や既存のマニュアルの見直しを行いながら、実効性のあるものとしていきます。 国からの「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」が公表された場合は、本市行動計画に基づき、市民及び事業者への適切な方法による情報提供、市民に対する予防接種の実施及びまん延の防止、生活環境の保全やその他の市民の生活及び地域経済の安定など、関係機関と連携し、対策を的確迅速に推進します。	危機管理課	2					○	継続	新型インフルエンザ等に含まれる新型コロナウイルスについては、当市の対応を振り返ったうえで進めを進めている。	今後も国・県の行動計画を踏まえた上で、本市の行動計画について、内容の拡充に努めます。
15	105	(1)	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業	小児慢性特定疾病児童の日常生活支援のため、日常生活用具の給付を行い支援します(所得により自己負担あり)。	保健センター (健幸政策課)	2					○	継続	全戸配布している健康づくりBOOKや市HPにより周知を図った。 また、地区担当保健師による、制度の周知に努めた。	
16	105	(1)	難病患者に対する支援	難病患者の居宅における日常生活を支援し、生活の質の向上等を図ることを目的に、障害福祉サービス等を適切に実施します。	障害福祉課	2					○	継続	難病患者のうち、障害者総合支援法第4条第1項の規定に該当する人に対し、障害福祉サービスを実施するために適宜必要な情報を関係機関と共有している。	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療の基盤づくりと疾病対策

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を充実できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立川西病院における良質で安全な医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎: 目標を上回った
- 2.維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
- 4.その他 ★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指 標 (単位)	令和5 年度の 数値	計画策 定時の 目標値	前回 (R4)の 数値				
17	105	(1)	応急処置方法の教育・普及	市民が心肺蘇生法やAEDの操作などの応急手当を習得できるよう、普通救命講習会の受講を促進するなど、応急手当の普及啓発に取り組みます。	消防本部	2	AED講習を含む救命講習会等の受講者数	2,032	2,500	1,649	△	継続	応急手当と、応急手当に関する講習について、広報の強化に努めた。	広報の強化に加えて、市民が受講しやすい環境の整備を継続する必要がある。

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況（指標）

No.	基本 施策	計画ページ	指 標		方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典
1	栄養・食生活	32 ページ	①食事を楽しいと思う人の割合		↗	68.3%	58.5%	80%	生活様式の変化やコロナの影響により、楽しく会話をしながら食事をする機会が減ったことが原因の一つと考えられる。食育は継続した啓発が重要であるため、今後も発行物やイベント等を通して切れ目のない取り組みを行う。	市民実感調査 ※計画策定時の値は、計画時の食に関するアンケート調査（平成27年） 理念としての最終目標は100%
2		32 ページ	②適正体重を維持している市民の増加	20～60歳代男性の肥満者	↘	25.6%	28.8%	20%	コロナ禍の外出制限により、運動量が減少し肥満者の割合が増加したこと、若年女性の理想体型と健康体型の認識のギャップがエネルギー不足や栄養バランスの偏りを招いたと考えられる。今後も適正体重の維持を促していく。	健康づくりについてのアンケート調査
3				40～60歳代女性の肥満者	↘	11.4%	14.7%	10%		
4				20歳代女性のやせの人	↘	17.9%	23.3%	15%		
5		32 ページ	③朝食を食べなかった人の割合の減少（2日間の平均）	10歳代	↘	15.0%	－	4%	生活様式の変化に伴い、朝食の時間が確保できた人がいる一方、その時間を睡眠時間の確保等に回した人も存在したと考えられる。引き続き朝食の重要性の啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査（平成27年）
6				20歳代	↘	16.7%	12.2%			
7				30歳代	↘	6.7%	16.2%			
8	身体活動・運動	35 ページ	①意識的に運動を心がけている市民の増加（1日30分以上の運動を週2回以上実施している人の割合）	男性	↗	70.1%	68.9%	75%	社会的な自粛期間が終わり、きんたくん健幸体操、健幸測定会等、可能な範囲で運動に取り組んでもらった。総合体育館で実施していたLet'sきんたくん健康体操は令和5年度で終了。令和6年度は、きんたくん健幸体操リーダー派遣のみ実施。継続した運動の実施ができるよう検討していく。	健康づくりについてのアンケート調査
9				女性	↗	63.3%	62.2%	70%		
10		35 ページ	②運動習慣者の増加（1日30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上続けている人の割合）	男性	↗	59.2%	59.1%	60%		健康づくりについてのアンケート調査
11				女性	↗	52.2%	51.2%	55%		
12	休養・心の健康	39 ページ	①ストレスを感じた市民の減少（ストレスを「毎日感じた」「時々感じた」人の割合）		↘	66.2%	68.8%	60%	令和4年度数値ではストレスを感じる市民の割合が増えていた。ストレス軽減につながるよう、睡眠の確保等についての正しい知識の普及啓発に努めた。	健康づくりについてのアンケート調査
13		39 ページ	②睡眠による休養がとれていない市民の減少（睡眠による休養が十分に「とれていないときがしばしばある」「いつもとれていない」人の割合）		↘	20.1%	20.4%	19%		健康づくりについてのアンケート調査
14		39 ページ	③睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことがある市民の減少（睡眠を助けるために、薬やアルコールを使うことが「時々ある」「しばしばある」「常にある」人の割合）		↘	23.2%	22.9%	19%		健康づくりについてのアンケート調査

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況（指標）

No.	基本 施策	計画ページ	指 標		方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典	
15	たばこ	43 ページ	①喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	呼吸器系(肺がん・喘息・気管支炎)	↗	91.3%	90.4%	100%	引き続き、喫煙が及ぼす影響等についての知識の普及・啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査	
16				循環器系(心臓病・脳卒中)	↗	60.1%	58.5%	80%			
17				消化器系(胃潰瘍)	↗	27.0%	27.5%	50%			
18				妊娠(妊娠に関連した異常)	↗	59.9%	58.0%	100%			引き続き、普及・啓発に努める。
19				口腔の病気(歯周病)	↗	36.2%	45.2%	50%			引き続き、普及・啓発に努める。
20		43 ページ	②成人の喫煙率		↘	10.5%	8.9%	10%	引き続き、普及・啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査	
21		43 ページ	③妊娠中の喫煙率		↘	3.1%	1.7%	0%	引き続き、普及・啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査	
22	アルコール	47 ページ	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合 (1回の飲酒量が男性40g、女性20g以上の人)	男性	↘	18.5%	15.9%	15%	女性の生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合は悪化した。男性の生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合及び、節度ある適度な飲酒の知識の普及については男女ともに目標値に近づいた。引き続き、「節度ある適度な飲酒」に関連する知識の普及・啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査	
23				女性	↘	6.5%	8.6%	6%			
24		47 ページ	②節度ある適度な飲酒の知識の普及 (1日平均純アルコールで約20g)	男性	↗	64.3%	65.0%	75%		健康づくりについてのアンケート調査	
25				女性	↗	54.0%	60.8%	65%			
26		47 ページ	③妊娠中の飲酒率		↘	4.0%	2.6%	0%	引き続き、普及・啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況（指標）

No.	基本 施策	計画ページ	指 標			方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典
27	健康診査・ 各種検診・ 健康管理	51 ページ	①健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合			↗	67.6%	73.3%	80%	目標値に近づいた。引き続き、健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発に努める。	市民実感調査
28		51 ページ	胃がん検診	男性	↗	42.4%	2.6%	50%	検診未受診者層のアプローチと個別検診とも連携して受診率向上に努める。	※計画策定時の値は、健康づくりについてのアンケート調査 ※実績値は、保健センター及び市内医療機関実施分(参考値) 対象者 子宮頸がんのみ20歳以上対象 その外は、40歳以上を対象	
29				女性	↗	35.9%	2.6%	50%			
30			肺がん検診	男性	↗	42.6%	12.1%	50%	検診未受診者層のアプローチと個別検診とも連携して受診率向上に努める。		
31				女性	↗	40.4%	15.3%	50%			
32			大腸がん検診	男性	↗	44.4%	9.5%	50%	検診未受診者層のアプローチと個別検診とも連携して受診率向上に努める。		
33				女性	↗	43.2%	12.2%	50%			
34			子宮頸がん検診	女性	↗	30.4%	9.9%	50%	検診未受診者層のアプローチと個別検診とも連携して受診率向上に努める。		
35			乳がん検診	女性	↗	32.0%	8.4%	50%	検診未受診者層のアプローチと個別検診とも連携して受診率向上に努める。		
36	親と子の健康 (母子保健)	56 ページ	①乳幼児健康診査受診率(健診後の状況把握者含む)			↗	98.6%	99.3%	99%	引き続き、目標値に近づけるよう努める。	乳幼児健康診査等実績 ※計画策定時は平成28年
37			②MR(麻しん・風しん)第1期の予防接種を終了している者の割合			↗	99.6%	96.4%	100%	国の接種率の目標である95%は達成している。今後も接種率の向上に努める。	予防接種事業実績 ※計画策定時は平成28年の値
38		56 ページ	③妊娠から出産、及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合			↗	86.1%	81.5%	87%	引き続き、目標値に近づけるよう努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査
39		56 ページ	④かかりつけの小児科医(医師)をもつ親の割合	1歳6か月児健診		↗	79.9%	83.0%	100%	引き続き、目標値に近づけるよう啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査
40				3歳児健診		↗	88.5%	92.8%			
41		56 ページ	⑤事故防止対策を実施している家庭(人)の割合	1歳6か月児健診		↗	96.9%	86.8%	100%	引き続き、目標値に近づけるよう啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査
42	3歳児健診			↗	98.1%	87.0%					

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況(指標)

No.	基本 施策	計画ページ	指 標		方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典		
43	親と子の健康 (母子保健)	56 ページ	⑥子育てに自信が 持てない親の割合	1歳6か月児健診	↘	27.7%	34.0%	20%	引き続き、目標値に近づけるよう、保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく提供する。	親子の健康づくりについてのアンケート調査		
44				3歳児健診	↘	31.8%	42.0%					
45		56 ページ	⑦子どもを虐待していると思う親の割合	1歳6か月児健診	↘	3.8%	5.7%	5%		親子の健康づくりについてのアンケート調査		
46				3歳児健診	↘	3.2%	5.8%					
47		56 ページ	⑧ゆったりとした気分 で子どもと過ごせる 時間がある親の割合	1歳6か月児健診	↗	81.1%	90.6%	80%		親子の健康づくりについてのアンケート調査		
48				3歳児健診	↗	72.6%	79.7%					
49		56 ページ	⑨育児について相談 相手のいる親の割合	1歳6か月児健診	↗	91.8%	88.7%	100%		親子の健康づくりについてのアンケート調査		
50				3歳児健診	↗	91.1%	92.8%					
51		56 ページ	⑩育児に参加する父親の割合			↗	92.8%	92.1%		95%	引き続き、目標値に近づけるよう啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査
52		56 ページ	⑪妊娠中の喫煙率(再掲)			↘	3.1%	1.7%		0%	引き続き、目標値に近づけるよう啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査
53	56 ページ	⑫妊娠中の飲酒率(再掲)			↘	4.0%	2.6%	0%	引き続き、目標値に近づけるよう啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査		
54	思春期保健対策の充実 (学校保健等)	59 ページ	①健康診断結果をもとに行った治療勧告を受けて、病院受診した割合(小学校・特別支援学校小学部)		↗	73.0%	69.5%	100%	令和4年度よりも受診の割合が減っている。引き続き保護者に情報提供を行い受診率の向上に努める。	教育保育課 ※計画策定時は平成28年の値		
55		59 ページ	②健康診断結果をもとに行った治療勧告を受けて、病院受診した割合(中学校・特別支援学校中学部)		↗	48.9%	55.6%	100%	令和4年度よりも受診の割合が増えている。引き続き保護者に情報提供を行い受診率の向上に努める。	教育保育課 ※計画策定時は平成28年の値		

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況（指標）

No.	基本 施策	計画ページ	指 標		方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典
56	の生涯を通じた歯の健康の予防と歯と口の健康維持	68 ページ	①むし歯のない3歳児の割合		↗	89.4%	93.7%	95%	妊娠中からの切れ目のない支援を継続することで目標に近づいた。	歯科健診 ※計画策定時は平成28年の値
57		68 ページ	②定期的に(年1回以上)歯科検診を受けている市民の割合		↗	45.5%	52.5%	50%	引き続き情報発信等を行い、普及・啓発に努める。	市民実感調査
58		68 ページ	③かかりつけ歯科医を持つ市民の割合		↗	75.5%	76.3%	80%	引き続き情報発信等を行い、普及・啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査
59		68 ページ	④8020運動を知っている市民の割合		↗	67.8%	69.8%	75%	引き続き情報発信等を行い、普及・啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査
60	『食』からひろがる健やかな体と豊かな心づくり	81 ページ	①「食育」の言葉も意味も知っている人の割合の増加		↗	51.4%	59.9%	85%	発行物やイベント等を通して情報発信を行い、普及に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査(平成27年) 理念としての最終目標は100%
61		81 ページ	②自分は「健康だ」「どちらかというと健康だ」と感じている人の割合の増加		↗	88.5%	77.6%	90%	日常生活を取り戻していく中で、自身の健康観を高められるような取り組みの実施に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査(平成27年)
62		81 ページ	③朝食を食べなかった人の割合の減少 (2日間の平均)【再掲】	10歳代	↘	15.0%	—	4%	生活様式の変化に伴い、朝食の時間が確保できた人がいる一方、その時間を睡眠時間の確保等に回した人も存在したと考えられる。引き続き朝食の重要性の啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査(平成27年)
63				20歳代	↘	16.7%	12.2%			
64				30歳代	↘	6.7%	16.2%			
65		81 ページ	④毎日の食事で、「栄養のバランス」を気にする人の割合の増加		↗	84.1%	79.5%	90%	物価高を考慮しつつも、栄養バランスに配慮して食事をすることの重要性の啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査(平成27年)
66	81 ページ	⑤毎日の食事で、「量やカロリー」を気にする人の割合の増加		↗	73.7%	72.2%	90%	量やカロリーに配慮して食事をすることの重要性の啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査(平成27年)	
67	81 ページ	⑥食事中、よくかんで食べる人の割合の増加		↗	54.8%	41.1%	90%	食事にかかる時間の短縮や、やわらかく口当たりのよい食品が好まれる現代の食環境において、よくかんで食事をすることの重要性の啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査(平成27年)	

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況（指標）

No.	基本 施策	計画ページ	指 標	方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典
68	『食』 からひろ がる地域 のつながり	85 ページ	①川西や近隣で栽培された野菜（地場産野菜）を「よく買う」「ときどき買う」人の割合の増加	↗	77.6%	72.2%	90%	ネットスーパーや通販等が拡充する中で、地産地消の選択の機会の減少、一括大量購入の頻度等が増加したと考えられる。 地産地消の啓発とともに持続可能な食の営みができるよう啓発を進めていく。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査（平成27年）
69		85 ページ	・食品購入前に本当に必要かを考える	↗	57.5%	45.8%	すべての項目について上昇	食品廃棄の削減に向けた啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査（平成27年）
70			・「マイバック」持参を心がける	↗	72.1%	87.9%		レジ袋の有料化に伴い持参率が増加したと考えられるが、この数値を維持できるよう啓発に努める。	
71			・「買いすぎ」「作りすぎ」ごみを出さない	↗	53.9%	52.9%		食品廃棄の削減に向けた啓発に努める。	
72			・過剰包装の食品を選ばない	↗	24.9%	18.1%		ゴミの削減に向けた啓発に努める。	
73			・ばら売りや詰め替え用食品を購入	↗	52.7%	36.2%		食品容器等の削減に向けた啓発に努める。	
74			・フードマイレージや地産地消を意識する	↗	35.2%	13.0%		フードマイレージや地産地消の普及・啓発に努める。	
75			・食べ物を大切にし、感謝する	↗	67.6%	62.6%		食べ物を大切にし、感謝する心を育む啓発に努める。	
76	次世代へつながり、ひろがる食育の『輪』	90 ページ	①食に関する作法で、「いただきます」「ごちそうさま」を言う人の割合の増加	↗	75.1%	68.1%	85%	食に関する作法についての啓発に努める。	健康づくりについてのアンケート調査 ※計画策定時の値は、食に関するアンケート調査（平成27年）
77		90 ページ	②食事を楽しいと思う人の割合(再掲)	↗	68.3%	58.5%	80%	生活様式の変化やコロナの影響により、楽しく会話をしながら食事をする機会が減ったことが原因の一つと考えられる。食育は継続した啓発が重要であるため、今後も発行物やイベント等を通して切れ目のない取り組みを行う。	市民実感調査 ※計画策定時の値は、計画時の食に関するアンケート調査（平成27年） 理念としての最終目標は100%

第1次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和5年度実績）

資料 1

健幸まちづくり計画 目標と達成状況（指標）

No.	基本 施策	計画ページ	指 標	方向性	計画策定時 (平成29年)	実績値 (令和5年)	目標値 (令和5年)	現状と課題	指標の出典
78	健 幸 ま ち づ く り の 推 進	99 ページ	①「スマートウェルネスシティ」の言葉も意味も知っている市民の割合	↗	5.9%	－	50%		健康づくりについてのアンケート調査
79		99 ページ	②主に鉄道やバス等の公共交通機関を利用している市民の割合	↗	53.5%	48.5%	60%	令和4年度以降、モビリティ・マネジメントの実施回数は増加している。今後も公共交通網維持のためモビリティ・マネジメントを実施していく必要がある。	市民実感調査
80		99 ページ	③自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合	↗	35.7%	32.5%	50%	参加している方が今後も継続して活動してもらえるような仕組みと共に、活動の周知や新たな参加のきっかけづくりを検討する必要がある。	市民実感調査
81		99 ページ	④自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支えあっていると思う市民の割合	↗	46.2%	46.1%	70%	地域活動には防犯活動や緊急時の助け合いなど、平時には目に見えないが重要な活動も多いため、活動の見える化や実施主体の情報発信等でPRを行っていく必要がある。	市民実感調査
82	の救 充 実 ・ 災 害 医 療	101 ページ	①夜間・休日の小児救急医療機関を知っている親の割合	↗	88.7%	－	100%	引き続き、啓発に努める。	親子の健康づくりについてのアンケート調査
83			1歳6か月児健診 3歳児健診	↗	96.2%	－	100%		
84	対地 域 医 療 の 基 盤 づ く り と 疾 病	105 ページ	①市内の医療環境に満足している市民の割合	↗	48.3%	64.7%	60%	引き続き医療環境を整えていく必要がある。	市民実感調査
85		105 ページ	②かかりつけ医を持っている市民の割合	↗	72.5%	72.5%	80%	かかりつけ医をもつことの重要性の啓発に努める。	市民実感調査 ※計画策定時の値は、健康づくりについてのアンケート調査
86		105 ページ	③かかりつけ歯科医を持つ市民の割合【再掲】	↗	75.5%	78.5%	80%	かかりつけ歯科医をもつことの重要性の啓発に努める。	市民実感調査 ※計画策定時の値は、健康づくりについてのアンケート調査
87		105 ページ	④かかりつけ薬局を持つ市民の割合	↗	46.2%	61.3%	60%	かかりつけ薬局をもつことの重要性の啓発に努める。	市民実感調査 ※計画策定時の値は、健康づくりについてのアンケート調査

第2次川西市健幸まちづくり計画指標一覧

資料2

No.	基本 施策	指 標		方向性	実績値 (令和4年)	目標値 (令和13 年)	指標の出典	目標達成に向けた取組(取組内容)	継続・新規
1	栄養・ 食生活	①食事をすることが楽しいと思う市民の割合 (「どちらかといえば、楽しい」は除いた割合)		↗	59.9%	70%	市民実感調査 (総合計画指標)	啓発媒体や各種教室、食育フェア等を通して普及・啓発を行う。	継続
2		②適正体重を維持 している市民の増加 (肥満: BMI25以上、 やせ: BMI18.5未満)	20～60歳代男性の肥満者	↘	28.8%	20%	健康づくりについてのアンケート調査 ※令和4年実績値は、20～64歳男性肥 満者、40～64歳女性肥満者	各種教室を通して、エネルギー不足や栄養バランスの偏りに関する知識の普及・ 啓発に努め、適正体重の維持を促していく。また、乳幼児を対象とした教室に参 加した子育て世代に重点的にアプローチを行っていく。	継続
3			40～60歳代女性の肥満者	↘	14.7%	10%			
4			20歳代女性のやせの人	↘	23.3%	15%			
5		③朝食を食べない 市民の割合	20～30歳代	↘	14.7%	10%	健康づくりについてのアンケート調査	朝食の重要性について、各種教室を通じて子育て世代の親へ普及・啓発を行っ ていく。	継続
6	身体 活動・ 運動	①意識的に運動を心がけている市民の 割合 (1日30分以上の運動を週2回以上実施 または心がけている人の割合)	男性	↗	68.9%	75%	健康づくりについてのアンケート調査	継続した運動の実施ができるよう、運動の必要性について、各種教室や個別面 接等で普及・啓発を行う。	継続
7			女性	↗	62.2%	70%			
8		②運動習慣者の割合 (1日30分以上の運動を週2回以上実 施または心がけ、1年以上続けている人 の割合)	男性	↗	59.1%	65%	健康づくりについてのアンケート調査		継続
9			女性	↗	51.2%	55%			
10	休養・ 心の 健康	①ストレスを感じた市民の割合 (ストレスを「毎日感じた」「時々感じた」市民の 割合)		↘	68.8%	60%	健康づくりについてのアンケート調査	ストレスに対するセルフケア及び良質な睡眠のための環境づくりについて、個別 面接やホームページで普及啓発を行う。	継続
11		②睡眠による休養がとれていない市民の割合 (睡眠による休養が十分に「とれていないとき がしばしばある」「いつもとれていない」市民の割 合)		↘	20.4%	19%	健康づくりについてのアンケート調査		継続
12		③睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコール を使うことがある市民の割合 (睡眠を助けるために、薬やアルコールを使う ことが「時々ある」「しばしばある」「常にある」市 民の割合)		↘	22.9%	19%	健康づくりについてのアンケート調査		継続

No.	基本 施策	指 標		方向性	実績値 (令和4年)	目標値 (令和13 年)	指標の出典	目標達成に向けた取組(取組内容)	継続・新規
13	たばこ	①喫煙が及ぼす健康への影響について知っている市民の割合	呼吸器系(肺がん・喘息・気管支炎)	↗	90.4%	100%	健康づくりについてのアンケート調査	喫煙が及ぼす影響等について個別面接やホームページで知識の普及・啓発に努める。	継続
14			循環器系(心臓病・脳卒中)	↗	58.5%	80%			
15			消化器系(胃潰瘍)	↗	27.5%	50%			
16			妊娠(妊娠に関連した異常)	↗	58.0%	100%			
17			口腔の病気(歯周病)	↗	45.2%	50%			
18		②成人の喫煙率	↘	8.9%	8%	健康づくりについてのアンケート調査	喫煙が及ぼす影響等についてホームページ等で知識の普及・啓発に努め、喫煙者との面談時には禁煙指導を実施する。	継続	
19	③妊娠中の喫煙率	↘	1.7%	0%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	妊娠中の喫煙が及ぼす影響について、母子健康手帳交付時等に知識の普及・啓発に努める。	継続		
20	アルコール	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合 (1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人)	男性	↘	15.9%	13%	健康づくりについてのアンケート調査	「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」に基づき、節度ある適度な飲酒に関連する知識について、個別面接やホームページ等で普及・啓発に努める。	継続
21			女性	↘	8.6%	6%			
22		②節度ある適度な飲酒について知っている市民の割合 (1日平均純アルコールで約20g)	男性	↗	65.0%	75%	健康づくりについてのアンケート調査		継続
23			女性	↗	60.8%	70%			
24	③妊娠中の飲酒率	↘	2.6%	0%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	妊娠中の飲酒が及ぼす影響について、母子健康手帳交付時の個別面接時に知識の普及・啓発に努める。	継続		

No.	基本 施策	指 標			方向性	実績値 (令和4年)	目標値 (令和13 年)	指標の出典	目標達成に向けた取組(取組内容)	継続・新規
25	健康 診 査 ・ 各 種 検 診 ・ 健 康 管 理	①健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合(食事内容に気をつけたり、運動をするなど)			↗	72.6%	80%	市民実感調査 (総合計画指標)	健康づくりに関する正しい知識について、各種教室や個別面接、ホームページ等で普及・啓発に努める。	継続
26		②がん検診受診率	胃がん検診	男性	↗	52.0%	60%	健康づくりについてのアンケート調査 対象者 子宮頸がんのみ20歳 以上対象 その外は、40歳以上 を対象	5大がん検診の無料化を行い、検診未受診者層への個別通知や民間連携協定を締結している企業との連携、デジタルサイネージ等の活用による啓発を行うとともに、個別医療機関とも連携して受診率向上に努める。	継続
27				女性	↗	35.1%	60%			
28			肺がん検診	男性	↗	48.9%	60%			
29				女性	↗	40.9%	60%			
30			大腸がん検診	男性	↗	50.2%	60%			
31				女性	↗	42.7%	60%			
32			子宮頸がん検診	女性	↗	40.9%	60%			
33			乳がん検診	女性	↗	39.2%	60%			
34	親と 子 の 健 康	③LDLコレステロール値が基準値(120mg/dl)を超える市民(国民健康保険加入者)の割合【参考】			↘	56.4%	52%	国民健康保険第3期データヘルス計画	市国保被保険者に対して、特定健診の受診結果と保健指導の利用勧奨を実施。また、特定健診結果から、要医療者に対する受診勧奨と保健指導を行う(脂質異常重症化予防事業)。	新規
35		④血圧が基準値(130mmHg)を超える市民(国民健康保険加入者)の割合【参考】			↘	47.8%	44%	国民健康保険第3期データヘルス計画	市国保被保険者に対して、特定健診の受診結果と保健指導の利用勧奨を実施。また、特定健診結果から、要医療者に対する受診勧奨と保健指導を行う(高血圧性疾患重症化予防事業)。	新規
36		①乳幼児健康診査受診率(健診後の状況把握者含む)			↗	99.9%	100%	乳幼児健康診査実績	健診未受診者へ勧奨し、受診率向上に努める。	継続
37		②MR(麻しん・風しん)第1期の予防接種を終了している人の割合			↗	93.3%	100%	予防接種実績	川西市医師会と連携しながら、定期予防接種を安全に受けられるような環境の確保に努めるとともに、市民への周知を図る。	継続
38	親と 子 の 健 康	③妊娠から出産、及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合			↗	86.1%	90%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく行う。	継続
39		④かかりつけの小児科医(医師)を持っている親の割合	1歳6か月児健診時点		↗	83.0%	100%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	妊娠期から子育て期にわたって健診等の節目の機会や個別面接等で啓発に努める。	継続
40			3歳児健診時点		↗	92.8%				

第2次川西市健幸まちづくり計画指標一覧

資料2

No.	基本 施策	指 標		方向性	実績値 (令和4年)	目標値 (令和13 年)	指標の出典	目標達成に向けた取組(取組内容)	継続・新規
41	親と子の健康	⑤事故防止対策を実施している親の割合	1歳6か月児健診時点		86.8%	100%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	妊娠期から子育て期にわたって健診等の節目の機会や個別面接等で啓発に努める。	継続
42			3歳児健診時点		87.0%				
43		⑥子育てに自信が持てない親の割合	1歳6か月児健診時点		34.0%	20%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく行う。	継続
44			3歳児健診時点		42.0%				
45		⑦子どもを虐待していると思う親の割合	1歳6か月児健診時点		5.7%	0%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく行う。	継続
46			3歳児健診時点		5.8%				
47		⑧ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合	1歳6か月児健診時点		90.6%	95%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく行う。	継続
48			3歳児健診時点		79.7%	85%			
49		⑨育児について相談相手のいる親の割合	1歳6か月児健診時点		88.7%	100%	親子の健康づくりについてのアンケート調査	保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく行う。	継続
50			3歳児健診時点		92.8%				
51		⑩妊娠中の喫煙率【再掲】			1.7%	0%	親子の健康づくりについてのアンケート調査		
52		⑪妊娠中の飲酒率【再掲】			2.6%	0%	親子の健康づくりについてのアンケート調査		
53	学童・思春期の健康 (学校保健等)	①健康診断結果(眼科・耳鼻科・歯科)をもとに行った受診勧告を受けて、病院受診した割合(小学校・特別支援学校小学部)			55.5%	65%	教育保育課	受診勧告後に受診結果報告書を提出してもらうことで受診者の把握に努め、未受診者には情報提供を行い受診率の向上に努める。	継続
54		②健康診断結果(眼科・耳鼻科・歯科)をもとに行った受診勧告を受けて、病院受診した割合(中学校・特別支援学校中学部)			32.7%	40%	教育保育課	受診勧告後に受診結果報告書を提出してもらうことで受診者の把握に努め、未受診者には情報提供を行い受診率の向上に努める。	継続

No.	基本 施策	指 標		方向性	実績値 (令和4年)	目標値 (令和13 年)	指標の出典	目標達成に向けた取組(取組内容)	継続・新規
55	青 壮 年 期 ・ 高 齢 期 の 健 康	①「フレイル」の言葉も意味も知っている市民の割合		↗	36.2%	50%	健康づくりについてのアンケート調査	フレイルやオーラルフレイルが及ぼす影響について、各種教室や個別面接等で知識の普及・啓発に努める。	新規
56		②「オーラルフレイル」の言葉も意味も知っている市民の割合		↗	23.2%	40%	健康づくりについてのアンケート調査		新規
57		③低栄養傾向の高齢者の割合 (BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合)		↘	24.0%	13%	健康づくりについてのアンケート調査		新規
58		④健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合(食事内容に気をつけたり、運動をするなど)【再掲】		↗	72.6%	80%	市民実感調査 (総合計画指標)		
59	生 涯 を 通 じ た 歯 科 疾 患 の 予 防 と 歯 と 口 の 動 き の 維 持 ・ 向 上	①むし歯のない3歳児の割合		↗	92.4%	95%	歯科健診	妊娠をきっかけに、妊娠中につくられる子どもの歯についての知識等、母子ともに生涯健康な自分の歯で過ごすための情報を提供する。 母子保健法に基づく乳幼児歯科健診と、歯科保健指導により、乳歯から永久歯への健全な口腔の育成や食べる力を育てるための情報提供や支援する。	継続
60		②4本以上のむし歯を有する3歳児の割合		↘	1.5%	0%	歯科健診		新規
61		③40歳以上で進行した歯周病を有する市民の割合		↘	10.0%	8%	歯科健診	歯周病の予防と早期発見のため、予防歯科センターや歯科医院で歯科健診や歯科相談を実施する。	新規
62		④50歳以上でよく噛んで食べることができる市民の割合		↗	65.4%	80%	歯科健診	中年期からの口腔機能の維持及び口腔機能が低下した際は回復・向上を図ることが重要であることを歯と口の健康セミナーや生活習慣病予防教室で啓発する。	新規
63		⑤80歳で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合		↗	79.6%	85%	歯科健診	一生自分の歯でおいしく食べ、楽しく健康に生活するため、基本となる「歯と口の健康」について意識啓発となる事業や催しを行う。	新規
64		⑥定期的に(年1回以上)歯科健診を受けている市民の割合		↗	50.4%	95%	市民実感調査	定期的な歯科検診による口腔管理は全身の健康状態に大きく寄与するため無料成人歯科健診の受診券を配布する等、歯科定期健診を促す。	継続
65		⑦かかりつけ歯科医を持っている市民の割合		↗	75.1%	80%	市民実感調査	歯と口に対する保健・医療・福祉を提供する「かかりつけ歯科医」を市民が持ち、定期的に歯科健診、歯石除去を受けるよう啓発に努める。	継続
66	『食』 から ひ ろ が る 健 や かな 体 と 豊 か な 心	①「食育」の言葉も意味も知っている市民の割合		↗	59.9%	85%	健康づくりについてのアンケート調査	啓発媒体や各種教室、食育フェア等を通して普及・啓発を行う。	継続
67		②自分は「健康だ」「どちらかというと健康だ」と感じている市民の割合		↗	73.0%	90%	市民実感調査	各種教室を通して、対象者の年齢に応じた健康に関する知識の普及・啓発を行う。	継続
68		③朝食を食べない市民の割合【再掲】	20～30歳代	↘	14.7%	10%	健康づくりについてのアンケート調査		
69		④「主食」、「主菜」、「副菜」を組み合わせた食事を1日2回以上ほとんど毎日食べている市民の割合		↗	65.4%	75%	健康づくりについてのアンケート調査	栄養バランスに配慮して食事をすることの重要性について、各種教室等で啓発に努め、実践できるよう促していく。	新規
70		⑤毎日の食事で、「量やカロリー」を気にする市民の割合		↗	72.2%	90%	健康づくりについてのアンケート調査	量やカロリーに配慮して食事をすることの重要性について、各種教室等で啓発に努め、実践できるよう促していく。	継続
71		⑥食事中、よく噛んで食べることを意識している市民の割合		↗	41.1%	60%	健康づくりについてのアンケート調査	歯と口の健康に関する情報の提供とともに、よくかんで食事をすることの重要性の啓発に努める。	継続

第2次川西市健幸まちづくり計画指標一覧

資料2

No.	基本 施策	指 標	方向性	実績値 (令和4年)	目標値 (令和13 年)	指標の出典	目標達成に向けた取組(取組内容)	継続・新規
72	『食』からひろがる地域のつながり	①川西や近隣で栽培された野菜(地場産野菜)を「よく買う」「ときどき買う」市民の割合	↗	72.2%	90%	健康づくりについてのアンケート調査	農産物直売所を通して、地場産野菜の販売を支援し、生産者の顔が見える地場産物直売所の販売促進を図る。	継続
73		②持続可能な食を支える食育活動のうち、関心がある市民や実践している市民の割合	↗	45.8%	すべての項目について上昇	健康づくりについてのアンケート調査	ごみ減量に向けた講座等による啓発や「食べ残しゼロ運動」を推進するとともに、フードドライブ活動等による食品ロスの削減に取り組む。また、災害に備え、計画的な食糧等の備蓄を行うとともに、家庭での食糧等の備蓄についても啓発を行う。	継続
74			↗	17.3%				
75			↗	52.9%				
76			↗	18.1%				
77			↗	36.2%				
78			↗	13.0%				
79			↗	62.6%				
80	り、次世代への『輪』を食育	①食に関する作法で、「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合	↗	68.1%	85%	健康づくりについてのアンケート調査	食に関する作法について、啓発媒体や食育フェアで啓発に努める。	
81		②食事をすることが楽しいと思う市民の割合【再掲】 (「どちらかといえば、楽しい」は除いた割合)	↗	59.9%	70%	市民実感調査 (総合計画指標)		
82	り社会とつながり向上	①自治会やコミュニティ、地域でのボランティアの活動に参加している市民の割合	↗	33.8%	50%	市民実感調査	一人ひとりが持っている知識・経験・個性を生かし、誰もが自分にできることで地域活動に関わる事ができる仕組みづくりに取り組む。	継続
83	地域包括ケアシステム連携・構築	①市内の医療環境に満足している市民の割合	↗	54.9%	65%	市民実感調査 (総計指標)	地域医療連携推進法人を通じ、病診連携を促進することで、市全体として安心で安全な医療体制を整備する。	継続
84		②かかりつけ医を持っている市民の割合	↗	68.6%	80%	市民実感調査	広報誌及び健康づくり事業案内冊子等さまざまな媒体を通じ、患者の生活背景を把握し、適切な診療及び保健指導を行うかかりつけ医をもつよう啓発に努める。	継続
85		③かかりつけ歯科医を持っている市民の割合【再掲】	↗	75.1%	80%	市民実感調査		
86	地域	④かかりつけ薬局を持っている市民の割合	↗	58.2%	65%	市民実感調査	広報誌及び健康づくり事業案内冊子等さまざまな媒体を通じ、日頃から体調のことを相談できるかかりつけ薬局をもつよう啓発に努める。	継続